

赤羽巖次 あかばね いんじ 評論家。明治八年四月五日長野縣生れ、四十五年二月一日没（二八五―一九二）。本名一 あじあ。筆名巖、巖次生、巖次、米山道人、赤羽生。明治二十年東京法學院卒。アメリカに渡り社會主義協會の會員となる。二十八年歸國、四十年日刊『平民新聞』記者。筆禍により下獄、千葉監獄で病死した。社會主義運動の如はると、思想は早くからアナキスチックであつた（石川三四郎）。

著書『農民の福音』（昭和四年五月）日共學社「共學パンフレツト」等。

